

早いもので今年もあと2ヶ月、あちこちから初雪の便りが届いてきます。私たちをとりまく世界がどこか静かにひっそりしてきたかのように感じられます。そんな夜は、もの思いにふけるにも、読書に親しむにも、芸術にふれるにも、自分を見つめるにも、絶好の機会かと思えます。特に進路選択を控えた3年生は、あらゆる角度から自分をふりかえり、将来を考える時かと思えます。それぞれの秋を大事に過ごしてほしいものです。

お母さんのせいだよ

先日、デパートに買い物に行った時、とても考えさせられる親子に出会いました。

買ったおもちゃの包みを大事そうに抱えている小学生くらいの子、もらった風船が飛んでしまって泣いている小さな子など、売場はどこも人でいっぱい、ごったがえしていました。私はある本を買いに、八階の本売場までエスカレーターで上がることにしました。

三階の子ども服売場まで来た時、幼稚園ぐらいの男の子とその子のお母さんともう一人の女の人の三人連れが私の数人前に乗ってきました。ところがその男の子は、混んでいる人の間をかきわけるようにして、エスカレーターの上をかけのぼったり降りたりして遊び始めたのです。

お母さんは連れの女の人の話に夢中で、子どもに注意をしようともしません。大きな荷物を両脇にかかえて立っているおばさんなどは、その子が脇を走り抜けるたびに迷惑そうな顔をして、身をよけるようにしていました。

次の階になっても、その次の階になってもその子は相変わらずエスカレーターをかけのぼったり降りたりして遊んでいます。きっといちばん上の階にある食堂へいくつもりでしょう。周りの人はみんな迷惑そうな顔でしたが、そばにいるお母さんがそのうち止めさせるだろうと考えて我慢をしている様子でした。

七階まで上がった時です。かけ上がろうとしたその子がつまづいて倒れたはずみに、そばにいた五十歳ぐらいのおじさんに、おもいきりぶつかってしまったのです。みんなハッとして息

をのみました。そのとたん、そのおじさんがものすごい声でどなりつけたのです。「なにやってるんだ！この子の親はどこにいるんだ。さっきから皆が迷惑してるのがわからないのか！」驚いてお母さんの所へ逃げ帰ったその子を、今度はお母さんは大声でしかりつけました。「いつもおとなしくしてなきゃいけないと言ってるでしょ！だから、お母さんがおじさんに叱られたでしょう」すると、その子は泣きながらわめくように言い返しました。

「お母さんが注意してくれないからだよ。お母さんがいけないんだ」

責任のなすりつけ合いをしている親子を見て、周りの人たちは思わず笑い出してしまいました。私はふと「あの子が大きくなってどんなおとなになるのだろうか？」と思いました。

進路を考える

遠足やハイキングで山道を登ると、道が右手と左手に分かれていて、どちらの道を選んだら目的地に着けるのか迷うことがよくあります。私たちの人生にもこのように、そのときどきに分かれ道があって、どちらの道に進むべきか迷い、自分なりの判断と決断によって、自分にとって一番よいと思う方向を決めるものです。では、自分にとって一番よい人生と思う道、つまり自分にとって一番よいと思う進路を決めるときには、どんなことを考えておく必要があると思いますか。

大切なことの一つは、自分のことをよく知り、自分で納得して選ぶ進路です。自分のことを知るには、いろいろなことを経験して、自分の能力や特性、適性を知ることです。自分に合った仕事や職業はなにか、自分はどんなことをやりたいのか、どんなことに向いているのか、いつも自己を磨き、適切に判断することのできる能力を養っておくことです。

三年生の皆さんは、もう自分の進路について具体的な形で考えなければならない時期ですが、一年生、二年生の皆さんも今のうちから自分の興味や特性、適性などに関心をもって自分の将来の進路について考えたり、友人と語り合ったりする習慣を身につけておいてほしいと思います。

私の知っている卒業生のA君は、二年生までは、学級委員の仕事や部活動に熱心に活躍していましたが、三年生になったら突然、学校へ来なくなりました。不登校のきっかけは、卒業期

の進路のことを考えると、それで自分の一生が決まってしまう不安にかられて、考えれば考えるほど、自分の進路に自信が持てなくなってしまったからです。学校へ行けば否応なしに授業の先生は、進路に関する話を話さずには、親からは、親の希望を押しつけられそうで、日々の生活が不安で苦痛だったそうです。

夏休みになって、A君は、担任の先生から勧められ、高原野菜を収穫する農家で二週間農業体験をしました。それから、農業に対する関心が高まり、農業高校を受験し、見事にパスしました。おしてA君は、食品化学科に入ってジャムや缶詰の製造にかかわり、生き生きとした楽しい高校生活を満喫して卒業しました。あとで、A君が思い出しながら強く言っていたのは、「もう少し、自分の職業や適性について考え、自分についてわかっていたら、あんな苦しみはしなくて済んだらう、周りの人たちから有名高校でないと就職に不利だとか、大学に入れないと言われ、それにふりまわされていた自分が恥ずかしい」ということでした。

A君のように三年生になって、急に自分の進路に不安にならないように、一年生のときから自分の進むべき道を選べる力を身につける訓練をしておくことが大切です。

もう一つは、いろいろな進路の情報を的確に把握する力を身につけることです。山道で道に迷ったとき、右手の道か左手の道かを決めるには、事前の知識や生活の知恵、経験等の情報によって、的確に判断することと同じです。高い山に登山した経験の浅い登山家が、途中道に迷ったあげく、早く人里に下りたくて、下り道を選んだために深い沢に迷い込んで命を落としてしまう例をよく聞きます。この先の道はどうなっているかあらかじめ地図で調べておくことはもちろんですが、地形学、気象学、植物のたたずまい等からベテラン登山家は、総合的に自分の進むべき道を判断します。

皆さんの進路も同様に職業調べや職場訪問、体験学習、先輩の人たちが調べてくれた情報等を的確にとらえて、自分の進むべき道について考える必要があります。

最近では、「入れる学校」から「入りたい学校」への進路のあり方が強調されています。自分がそこでなにを学びたいかを中心に進路を選んでください。

美しい顔

詩集「たいまつⅠ」むのたけじ より

だれもが、だれにもない美しい顔を一つは必ずもっている。その顔が愛する人との語らいにあらわれるか、それとも人はだれしも働いているときに最も美しいと言われるように仕事に専念しているさいにあらわれるか、あるいはひとりぼっちのときにあらわれるか、あらわれかたはさまざまであろうと、だれもがだれにもくらべものにならないすばらしい顔を一つもっていることは間違いない。多く人は、自分のその顔に気づいていないようだ。いつどのようにして自分のその美があらわれるかを自覚したら、人は熟しはじめるであろう。

診断テスト時間割

11月10日(月) 1 国語 2 理科 3 社会

11日(火) 1 数学 2 英語 3 学活